



五中だより

貝塚市立第五中学校

校訓《勤勉・自律・敬愛》

令和4年7月 第4号

～ 校長室から ～

先日、華道の大家、笹岡隆甫さんからお話をお聞きする機会がありました。笹岡さんは生け花はつぼみから次第に開いて変わっていく姿、つまり時間の経過を感じられることが魅力の一つとおっしゃっていました。一方、西洋文化のフラワーアレンジメントは開いた花をたくさん盛り付け、美しさの最高の瞬間を見てもらうものだそうです。つまりフラワーアレンジメントは花の美しさを感じる芸術であり、生け花は自然の経過や生命を感じ、花だけでなくそこには見えない根っこの部分や土、さらには宇宙をも感じる哲学であるというお話をされました。

また、西洋ではシンメトリー（左右対称）をよしとするのに対して、生け花など日本の文化は左右非対称、つまり「くずしの美」なるものを美しいとすることなどをお聞きしました。

そういえば、生け花だけでなく、掛け軸などの絵画や書道、建築物など、対称でないものや不安定なものがずいぶん日本の文化にみられるなあと感じました。

人の生き方もそうであり、「不完全なものがある方が人間らしい」という考え方が日本文化にあります。なんでもできて欠点のない完璧な人間より、ちょっと不器用なところがあったり、弱さがあったりする人のほうが魅力的に見えることがありますよね。

でも、最近の世の中では物にも人にも完璧を求めることが多い傾向があるように思います。ITの発達によりなんでもすばやく正確にできる社会が求められるようになりました。でも、いったん通信障害や停電が起こると完全に機能マヒに陥ってしまいます。

人材育成や子育てについても完璧を追求して、できないところや欠点をできるだけなくそうとしがちになります。もちろん、欠点をなくそうとすることはいいことですが、できないことを批判したり、できない自分を責めてみたりと気持ちが追い込まれることが多々あります。それよりも、いいところをさらに伸ばしたり、できないのも自分のもちあじと考える魅力の一つにしたりすることも大切なあとお話を聞いて思いました。

完璧な世の中よりも弱みも欠点も受け入れられる世の中になってほしいですね。

～生徒指導から～

本格的に暑くなってきました。水分補給や涼しい所に避難するなどの対策をしないと危険だなと感じます。それぐらい暑い日々が続いています。夏休み中も熱中症対策をしてくださいね。

さて、今回は、五中の卒業生を紹介します。7月27日～31日の期間で行われる、インターハイ（全国高等学校総合体育大会）に出場する、大阪代表（近畿大会1位）は薫英女学院高等学校の女子バスケットボール部（2年）‘松本 汐音’さんです。彼女は、全国から集まってくる選手たちと寮生活を送っています。まだ2年生ですが、インターハイ出場メンバーに入り、全国を相手に挑みます。そんな彼女のすごい所は、「**ひたむきに頑張りが続けられること**」です。目標に向かって闘う‘やりきる力’がこんなにも人を成長させるのかと感心します。現状に満足せず、さらに高みを目指してこれからも突き進んでいく姿に注目です。応援しましょう！

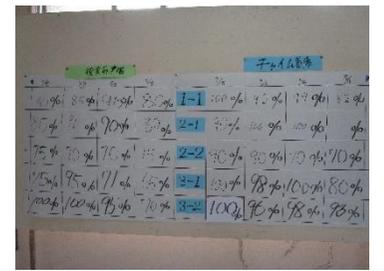
～生徒会から～

7月に入り、暑さも増し、半そでの制服を着用する人も多くなりました。

執行部では、この機会に制服を正しく着こなしてもらおうと「服装WEEK」に取り組みました。生徒玄関に自分達で撮影した正しい例と悪い例の服装を掲示し、全校生徒に意識してもらいました。各クラスで何が課題か掲示し、達成率を掲示しました。1週間の取り組みでしたが、アンケート結果では、この機会に服装を意識できた人が9割以上いてくれたことが凄く嬉しかったです。



暑くなると動作も鈍くなりがちで、HR議員では「授業準備」と「チャイム着席」が出来ているかの取り組みをしました。達成率を生徒玄関に掲示し、各クラスの状況が目に見えて分かるようにしてくれました。授業準備・チャイム着席ができる事によって、心の準備ができ、余裕を持って授業スタートができて、集中しやすい環境となりますね。服装や授業準備・チャイム着席など個の意識が自分の環境を整え、クラス全体の環境に繋がります。1学期も残りわずかです。気持ちの良い環境で1学期を終え、2学期に繋げよう！



7月25日(月)にリーダー研修を実施します。執行部、HR議員・各種委員長・ソーラン実行委員が参加し、2学期以降の学校活性化について議論し合います。昨年度もリーダー研修を通して、委員会同士の結束が強まり、学校が活性化したと実感していますので、今年も研修が楽しみです！ 活動内容については、2学期に生徒玄関に掲示しますのでお楽しみに！